

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 プロアマ・オレンジ インベーター	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.500	△RG 0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：・オレンジ・インベーター

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

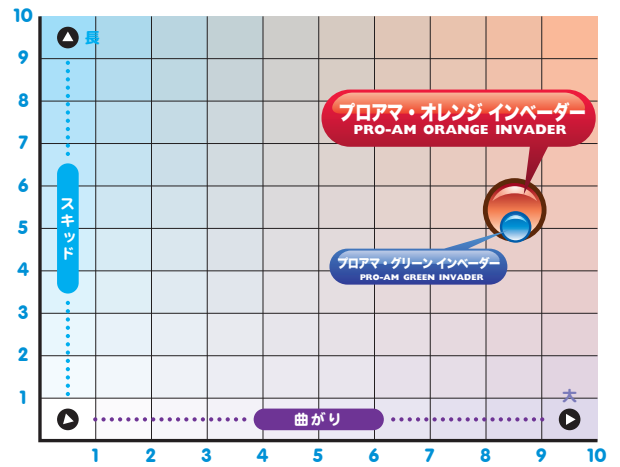
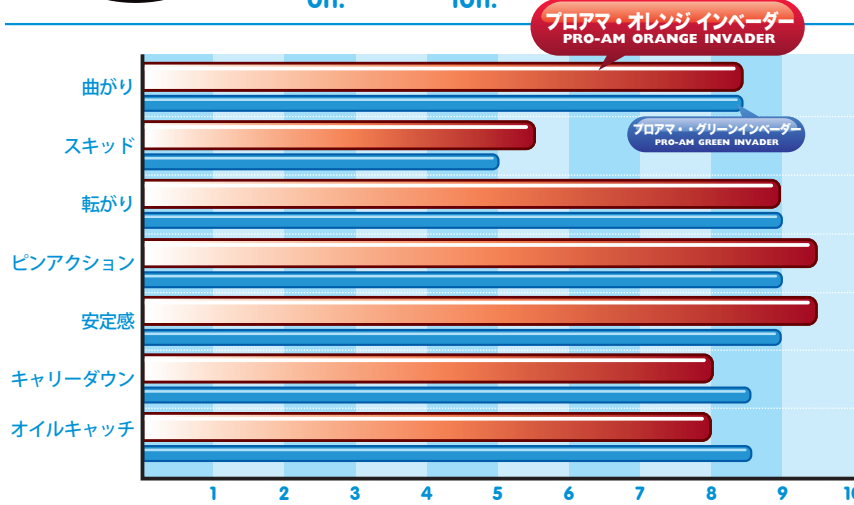
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：・グリーン・インベーター

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 5 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



ボールの評価

インベーターの最新作はインフィニティー2.50コアをそのまま採用し、MO5.8Pカバーストックを纏い、インベーターシリーズではちょうどインベーターブラックとブルーのちょうど中間に位置するOrange INVADERの発売です。投球イメージとしてはキャッチはやや強めで、スキッド力はブラックとブルーのちょうど中間ぐらい。バックエンドリアクションはシャープにフリップ状に動く、柔らかく切れ込む強さを開発コンセプトで求めました。実際にさまざまなインベーターシリーズと投げ比べをしてみると、ミッドエリアでの曲がり始めの柔らかさがオイルに対しての強さを感じ、そこから加速しながら曲がりのイメージを保ちながらポケットへ切れ込むリアクションが見てとれます。インベーターシリーズも6作目になりましたが、インベーターに共通して言える事はポケットへの入射角までの軸移動がしっかりとしていること。またやや外れたポイントでも倒す能力を秘めていることでしょう。このOrange INVADERも例外ではなく、テストングではストライクの確率の高さに驚かせられました。もう一つはsymmetric(左右対称)コアならではの難しいレイアウトを必要としないでパフォーマンスを得られることでしょう。ボール性能もさることながら、共通の認識としてパフォーマンスを得られることはインベーターシリーズの人気の秘密でもあり、必要条件と言っても良いでしょう。今回のOrange INVADERの配色は今まであまり見たことのないOrange/Purple/Silverの組み合わせで、非常に綺麗に仕上がっています。扱い易さも感じながら攻撃的にラインを攻めることができるこのボールは私自身インベーターシリーズで1.2の出来だと思っています。やはりレポートの中にはインベーターシリーズの一つはもっておかなければなりませんね。

特記事項

インベーターシリーズ第6作目はOrange INVADER。
 柔らかく切れ込むインベーターならではの無敵とも言える独特な曲がりとピンアクションをお楽しみください。